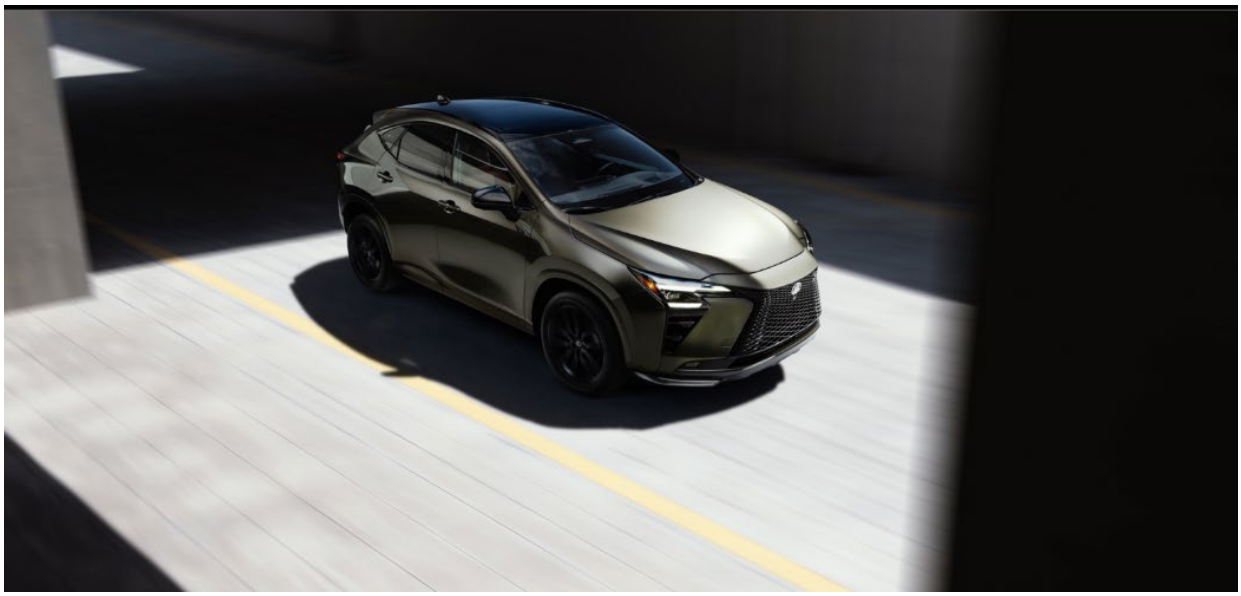
2026 年 11 月 26 日

LEXUS、「NX」の新型モデルを発売

－新時代を切り開く Urban Sport Gear の電動化時代を見据えた新たな挑戦－

□“DISCOVER YOUR EDGE”をテーマに、いつもの日常から一歩を踏み出し、可能性を拡げていく SUV へと進化
□新世代プラットフォームによる基本性能の向上と、細部にわたる徹底的な造り込みにより、スポーティな走りと上質な乗り味を高次元で両立
□新世代ハイブリッドシステムの搭載で、走りと環境性能の進化を両立
□電動化の進化により、「もっと便利に、もっと遠くへ」
□スポーティな走りを予感させるエクステリアと、シンプルでクリーンなインテリア空間
□車内空間を光や香りの演出で感性に寄り添う「Sensory Concierge（センサリーコンシェルジュ）」



NX450h+

LEXUS は、全国のレクサス店を通じて 2026 年 12 月 7 日に「NX」の新型モデルを発売します。

NX は、2014 年に LEXUS 初のコンパクトクロスオーバーSUV として誕生して以来、都会を機敏に駆け抜ける高い走行性能と、スタイリッシュなデザイン等が世界中のお客様からご好評をいただき、2026 年 10 月末時点で 90 以上の国と地域で累計約 194 万台を販売し、LEXUS のグローバルコアモデルへと成長しました。

LEXUS は、1989 年の創業以来、常にイノベーションの精神を貫き、Japan Mobility Show 2025 では、「"DISCOVER" ー誰の真似もしないー」というブランドメッセージを掲げ、お客様一人ひとりにとって唯一無二の体験価値を提供できるブランドとしてさらに変革していくことを宣言しました。新型モデルの企画に際しては、"DISCOVER YOUR EDGE"というテーマを掲げ、お客様の日常に新たな刺激をもたらし、可能性をさらに拡げていくような存在となることを目指して開発を進めてきました。スポーティとユーティリティの両立という歴代 NX が連綿と築いてきた提供価値を大切にしながら、電動化時代にふさわしい変革を遂げるべく、ハイブリッドシステムを一新し、その走りを進化させるとともに、内外装デザインも刷新しました。躍動感を感じさせるエクステリアがクルマに乗り込む前から走りへの期待・高揚感を高めるとともに、水平基調のシンプルなインテリアがドライバーだけではなく、全ての乗員に開放感と落ち着きをもたらします。加えて新たに導入する「Sensory Concierge」は、感性に寄り添う光や香りの演出により、自宅のリビングルームのような寛ぎの空間で乗員を包み込み、NX ならではの多様な価値を提供します。

Lexus International チーフエンジニア 遠藤 邦彦

NX は、走り・デザインともにスポーティでスタイリッシュなコンパクト SUV として誕生して以来、既成概念にとらわれることなく、常に新しい価値を追求してきました。そうして築いてきた魅力が、お客様それぞれのライフスタイルに「ちょうどよい」存在として受け止められ、支持されてきました。

新型モデルでは、刺激的な存在であり続けることを目指し、"DISCOVER YOUR EDGE"をテーマに掲げました。NX に乗り込み、走り出した瞬間から、自分の世界や可能性が拡がっていくような、ワクワクするクルマを造ろう、という想いで開発を進めました。目的地へまっすぐ向かうだけでなく、気づけばつい遠回りしたくなる。そんな気持ちを呼び起こすクルマとは何か。その問いに向き合いながら、開発に取り組みました。

DISCOVER YOUR EDGE ー「これくらいでいい」と守りに入ることなく、新しい可能性に挑む。そうした姿勢で、私自身も開発に向き合ってきました。その想いのもと、シンプルでクリーンなコックピットや、電動化技術で進化したスポーティな走り、自由度の高い充電、その時々の気分でイルミネーションやフレグランスを選べる居心地のよい空間などを実現しました。スポーティとユーティリティの両立という NX らしさは守りながらも、乗る人それぞれの新たな可能性を引き出し、人生に変化や刺激をもたらすモデルへと進化させました。皆様の最高の相棒となる NX に、どうぞご期待ください。

【NX 新型モデル 主要諸元】

	450h+	350h	
	AWD	2WD（FF）	AWD
全長（mm）	4,690（＋30）		
全幅（mm）	1,865（±0）		
全高（mm）	1,660（±0）		
ホイールベース（mm）	2,690（±0）		
車両重量（kg）	2,070*1	1,760*1	1,820*1
タイヤサイズ	235/60R18 235/50R20		
エンジン	2.5L 直列 4 気筒		
トランスアクスル	電気式無段変速機		
エンジン最高出力［NET］ （kW［PS］/r.p.m.）	139［189］/6,000		
エンジン最大トルク （N·m［kgf·m］/r.p.m.）	235［24.0］/4,200-5,000		
モーター最高出力 （kW［PS］）	フロント：151［205］ リヤ：41［56］	フロント：119［162］	フロント：119［162］ リヤ：41［56］
モーター最大トルク （N·m［kgf·m］）	フロント：272［27.7］ リヤ：123［12.5］	フロント：272［27.7］	フロント：272［27.7］ リヤ：123［12.5］
燃料消費率（km/L）	22.0*2	23.4*2	22.3*2
EV モード航続距離	147 km*3	－	

（ ）内は従来型比

＊1　装備仕様によって異なります

＊2　WLTC モード、20 インチタイヤ＆アルミホイール装着時

＊3　国土交通省審査値。使用状況によっては、EV 走行が解除されエンジンが始動する場合があります

＜凡例＞

★：2026 年 9 月 1 日世界初公開時のプレスリリース以降の追加情報

最新の電動化技術による走りの熟成とユーティリティの向上

NX では、電動化技術を活用した新たな体験価値を創出すべく、ハイブリッドシステムを一新し、優れた燃費・動力性能など、電動車の特性を活かした走りの進化を実現しました。また、PHEV 用のバッテリーの新規開発による EV モード航続距離の延長や充電時間の短縮など、電動車としての利便性を向上させています。

＜走りの熟成と環境性能の向上を両立する新世代ハイブリッドシステム＞

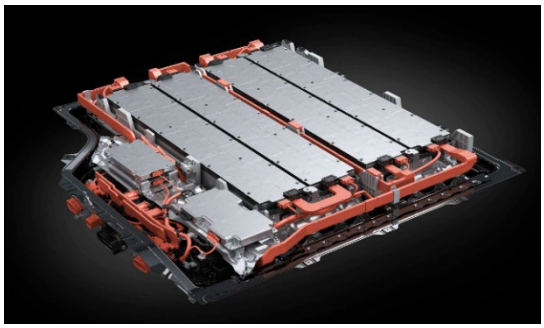
・トランスアクスル、モーター、PCU（Power Control Unit）を一体化し、小型・軽量・低重心化を実現した e-Axle を採用しました。駆動系の効率改善に加え、インバーターのパワー素子に電気損失が少ない SiC（シリコンカーバイド）を採用することで、より高効率化でき、燃費の向上に貢献。また、燃費性能を向上させながら、電池の出力向上などにより、より高い動力性能も実現しています。



フロント e-Axle/PCU

＜新開発のリチウムイオンバッテリーが、「もっと便利に、もっと遠くへ」を実現＞

・NX450h+は、電池出力が 8%、電池容量が 30%向上した新開発のバッテリーを搭載し、EV モード航続距離も大幅に向上させました。また、DC 急速充電にも対応し、充電時間を大幅に短縮したほか、電動充電リッドの採用により、充電時の利便性も向上しました。
・また、バッテリーのセルの配置方向を従来の前後方向から横方向に変更することで、ボディ全体の横方向の剛性を向上させるとともに、バッテリー搭載位置が下がることによる低重心化を実現。操縦性・走行安定性の向上に大きく寄与しています。



PHEV バッテリー

★さらに、新型 NX450h+では、LEXUS ならではの充電や体験を提供するオーナー向けプログラム「LEXUS Electrified Program（LEP）」のサービス*1 をご利用いただけます。LEP を通じて、より自由で豊かな時間を提供します。

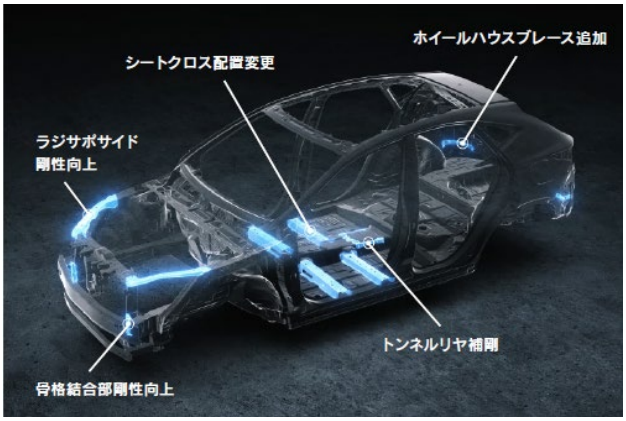
*1　対象となるサービスの詳細は、lexus.jp/lep/services/をご参照ください

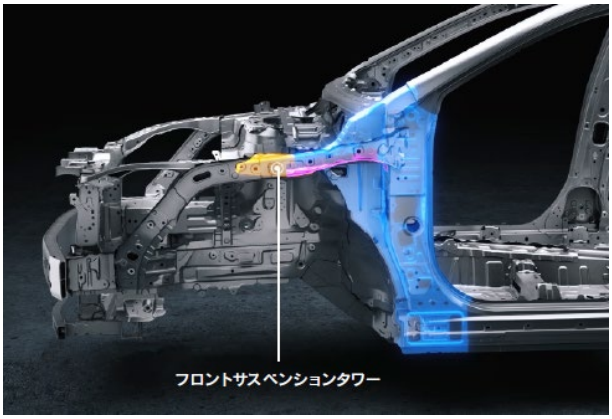
継続的な基本性能の向上と徹底的な造り込みによる「Lexus Driving Signature」の進化

LEXUS ならではのすっきりと奥深い走りの味である「Lexus Driving Signature」をさらに高い次元へ進化させるため、LEXUS は全てのモデルにおいて、継続的な基本性能の向上と徹底的な造り込みに取り組んでいます。新型モデルでは、スポーティな走りと快適な乗り心地をさらに進化させるため、ボディ剛性の向上や重量部品の再配置など、走りの基本となる体幹の部分にも手を加え、新たな LEXUS の開発拠点である「Toyota Technical Center Shimoyama」（以下、TTC-S）の厳しいテストコースにおいて基本性能を鍛えました。さらに、TTC-S の原点であり、より厳しい路面環境を有するドイツのニュルブルクリンクにおいても、LEXUS らしい快適性と上質さを極めるべく、徹底的な走り込みとチューニングを繰り返し、「ドライバーがクルマと対話できる走り」を追求しました。

＜基本性能向上のための体幹づくり＞

・LEXUS は全てのモデルにおいて、クルマの体幹に直結するボディ剛性向上に取り組んでいます。新型モデルではフロントエンドとリヤエンドの強化に加え、新たにシートクロスの追加と配置変更及びトンネル部の稜線部を補剛することで、フロア剛性を約 25%向上させました。フロントサスペンションタワーも構成部品を一体化することで剛性を約 30%向上させ、ハンドリングのみならず、乗り心地の向上とロードノイズの低減を実現しました。





ボディ剛性向上

・エンジンブロックの形状変更による剛性向上と、補強材を使ったトランスアクスルとエンジンの締結剛性向上により、エンジンの爆発変動の周波数との共振をずらし、不快な音と振動を低減しました。また、新世代ハイブリッドシステムの導入による ECU 性能向上に伴い、モーターの制御をより協調して行うことが可能となり、EV 走行から HEV 走行に切り替わる際のエンジン始動時の振動を大幅に削減。一方、エンジンの回転数などの車両状態の把握に必要なサウンドはしっかり伝達することで、「ドライバーがクルマと対話できる走り」を実現しています。

＜徹底的な造り込みにより Lexus Driving Signature をさらに高い次元へ＞

新型モデルでは、よりリニアで上質なドライブフィールを目指し、シャシーと車両制御のチューニングに徹底的にこだわりました。

・極微低速バルブ付ショックアブソーバーの新採用＊1 により、サスペンションの微小な動きに対しても高い応答性で減衰力を発生させることで「すっきりと奥深い」上質な乗り味を実現。路面のうねりに対して車体の姿勢をよりフラットに保ち、スポーティなハンドリング性能と快適な乗り心地の両立に貢献します。また、サスペンションのチューニングは TTC-S の様々なテストコースに加えてニュルブルクリンク及び周辺道路で繰り返し実施。低速の街中から 200km/h を超えるアウトバーンまで、多様な路面の荒れやうねりが存在する環境下で、ドライバーにとって自然で安心感の高いハンドリングと乗り心地を造り込みました。

・ステアリングホイールを 10mm 小径化して 360mm に変更するとともに、ステアリングの切れ角によってギア比がよりクイックに変化する「バリアブルラックギア」を採用し、さらなる取り回しの良さを実現しました。この変更に合わせてパワーステアリング制御も徹底的にチューニング。軽快かつリニアな操舵力フィードバックを造り込むことで、クイックなハンドリング特性においても、より自然で安心感の高いステアリングフィールを実現しました。

・アクセル制御の進化により、より軽やかでリニアな加速コントロール性を実現。また、アクセルペダルユニットの改良により、ペダルがストロークする際の摩擦力を低減し、踏力に対してペダルがリニアな動きとなり、より緻密な車速コントロール性を実現しました。

・ハイブリッドシステムの刷新に伴い、バッテリーパワーの制御も改良しました。加速時にバッテリーパワーを従来よりも活用することで、エンジン回転数の上昇を抑え、車速とエンジン回転数の上昇をより同期させることで、さらにリニアな加速感を実現しました。

・E-Four（電気式 AWD システム）については、後輪のモーター駆動制御を変更し、発進時、スリップ時、旋回時に加えて直進時も常時 AWD 走行を実現。様々なシーンで一貫して後輪をモーターで駆動させることで、接地感の高い安定したハンドリング性能をサポートしながら、雪上など滑りやすい路面における安定性も向上しました。

・旋回中にごくわずかな制動力を付与することで、車体が不安定になりやすい急なレーンチェンジ等におけるヨー挙動やロール挙動の収束性を向上させる、新たなブレーキ制御を採用。より安定した車両姿勢と運転のしやすさを実現しました。

・ドライビングポジションについては、ビッグデータを活用し、理想のシート角度とステアリング位置を追求。データの分析結果から、より最適なドライビングポジションで運転を楽しめるよう、ステアリングの前後調整量を拡大しました。ペダルやステアリングホイールも刷新し、スポーティな走りから街乗りまで様々な走行シーンで、意のままの操作感とともにドライブを存分にお楽しみいただけます。

・空力については、サイドグリル内のダクト剛性を上げることで、タイヤ周りの空気の流れを安定させ、操縦安定性を向上させました。また、ホイールハウス内にフィンを設置し、内部の空気を効率よく排出することで圧力上昇を抑制。走行時の車体後部の浮き上がり感を低減し、接地感と直進安定性を高めました。

＊1　AVS＝アダプティブバリアブルサスペンションシステム非装着車

よりスポーティなエクステリアと、上質で快適な室内体験を提供するインテリア

新型モデルでは、継承されてきたデザインテーマである「VITAL TECH」をさらに熟成・進化させることを目指しました。エクステリアは、スポーティなフォルムやサイドシルエットはそのままに、より躍動感がありアクティブなイメージへと昇華。機能と造形をシームレスに融合させることで、LEXUS ならではの機能美を追求しました。インテリアは、どの座席でも心地よく過ごせるよう、広々とした開放感と落ち着きを感じられる空間を目指しました。

＜走りの良さを予感させるプロポーション＞

・ワイド＆ローのプロポーションを追求。ヘッドランプやコーナリングランプといった機能部品をグリルと融合し、スポーティさを強調することで、シンプルでクリーンなプロポーションを実現しました。機能をシームレスに融合した造形により、モダンなデザインへとアップデートするとともに、空力・冷却性能を高めるメッシュグリルを採用することで、LEXUS ならではの機能美を体現しています。

・アウターミラーやモール類をクロムメッキから黒を基調としたデザインへ刷新。凝縮感が増すことで、NX らしい「塊感」のあるスポーティさが際立ち、力強いスタンスを表現しました。





エクステリア

・ヘッドランプは、ターンシグナルランプとデイタイムランニングライト（DRL）を統合し、ターンランプと合わせてダブルラインを表現。NX らしい精悍さを造り出すとともに、視認性も確保し、機能性とデザインを両立しています。





ヘッドランプ

・リヤコンビネーションランプは、LEXUS 初の「ダブル L シグネチャー」を採用。両端の L がダブルで光り、LEXUS の発光ロゴとともに、ワイド＆ローな印象を強化します。



リヤコンビネーションランプ「ダブル L シグネチャー」

＜多様なお客様のニーズに応えるカラーバリエーション＞

・ボディカラーには、新色を含む 9 色を設定。version L にモダンさと自然との調和を感じさせる、アッシュトーンの「SONIC TELLUS」を、F SPORT にはシャープでクールな「TITANIUM CARBIDE GRAY」を新たに設定しました。



ボディカラー：SONIC TELLUS（version L 設定色）



ボディカラー：TITANIUM CARBIDE GRAY（F SPORT 設定色）

＜シンプルでクリーン、開放感と落ち着きを両立した室内空間＞

・インストルメントパネルは、ドライバーの視界を確保しながらも、視線移動が少なくなるよう、12.3 インチ液晶メーターと 14 インチのナビゲーションシステム／マルチメディアを水平に配置。見通しの良さと操作性を両立し、開放感と落ち着きを兼ね備えたドライビング空間としました。
・また、ステアリングホイールのデザイン変更や、透過表皮を使用したレスポンシブヒドゥンスイッチにより、機能をアップデートするとともに、ブランドとしての統一感を強化しています。



コックピット

・線発光と間接照明により、しっとりとした落ち着きのある空間を表現。インストルメントパネルからドアトリムへと続くラインが、光でも水平基調を演出し、シンプルでクリーンな世界観とワイドな広がり感を生み出します。

・Mark Levinson*1仕様では、パンチングメタル製のスピーカーグリルが先進的な印象を与えるとともに、ドアスピーカーの外周を取り囲む丸い光のリングがスピーカーグリルを透過し、エレガントな表情を生み出します。





イルミネーション（イメージ)

・インテリアカラーには、version L 設定色「ABALOS」と、F SPORT 設定色「PROMINENCE」、2 色の新色を含む 5 色を設定。「ABALOS」は、火星の北半球にある砂丘から着想を得た、大地のエネルギーを感じさせる華やかで落ち着きのあるカラーです。「PROMINENCE」は、FLARE RED よりさらに鮮やかなカラーで、スポーティさとアクティブさを際立たせます。



インテリアカラー：ABALOS（version L 設定色 ）



インテリアカラー：PROMINENCE（F SPORT 設定色)

＜スポーティを追求した F SPORT＞

・エクステリアは、フロントのアンダースポイラーとサイドポンツーン、リヤコーナー空力デバイスを F SPORT に設定し、走りへの期待感を高めます。また、ルーフサイドレール、ルーフスポイラー、ロッカーにピアノブラックを採用することで、全体の印象を引き締めました。さらに、軽量かつ高剛性の F SPORT 設定 20 インチアルミホイールを採用したほか、ブレーキキャリパーは、よりスポーティなレッドにカラーを変更するなど、F SPORT らしさを際立たせています。





F SPORT エクステリア

・インテリアは、より運転に集中できるよう、インストルメントパネルをブラックで統一。ステッチでアクセントをつけています。





F SPORT インテリア

*1 マークレビンソン、Mark Levinson は、ハーマンインターナショナルインダストリーズ社の登録商標です

LEXUS ならではの感性に寄り添う体験価値

LEXUS は、クルマに乗っている時間を移動のためだけではなく、価値ある体験の時間へと変えていきます。新型モデルでは、新たにフレグランス機能を設定したほか、視覚、聴覚、温冷覚との多感覚連携を楽しむことも可能となるなど、その時の気分によって、感性に寄り添った車内空間を演出します。

＜多感覚連携で気持ちに寄り添う Sensory Concierge＞

・全ての乗員に自宅のリビングルームのようにくつろげる空間を提供することを目指した「Sensory Concierge（センサリーコンシェルジュ）」は、空間と演出で魅了する世界観「パフォーミングアーツ」をコンセプトに、LEXUS 独自の体験価値を追求。イルミネーション、音楽、空調、シート温度、フレグランスを 3 つのモードで連携させることで、乗員をリラックスさせたり、高揚させたりしながら、その時々の気持ちに寄り添う車内空間を提供します。



INSPIRE



RADIANCE



REVITALIZE

INSPIRE（インスパイア）　　：エキゾチックで刺激的な鼓動で気持ちの高揚をサポート
RADIANCE（ラディエンス）　：反射と揺らめきが交差する冴えた空間で集中をサポート
REVITALIZE（リバイタライズ）：優しい自然の循環をイメージした雰囲気でリラックスをサポート

＜LEXUS のデザイン思想「Time」と自然を表現する 5 つの香り＞

・新型モデルでは多様な香りの体験も提供します。フレグランスは LEXUS のデザイン思想「Time」を象徴する 5 種類*1を設定し、そのうち 3 種類の専用カートリッジをグローブボックス内の発生器に同時に搭載できます。乗車中に専用画面から好みのフレグランスを選択することで、インストルメントパネル奥のスピーカーグリル部から広がる香りを楽しめます。また、Sensory Concierge のモードとは別に、各フレグランスに連動するオリジナルのマルチメディア動画、音楽と一緒に香りを楽しむことも可能です。

青陽*1（SEIYO）　：春の陽溢れるのどかでやさしいホワイトフローラル
半夜*1（HANYA）　：深い夜の静粛に漂う神秘的で柔らかなムスク
晨明*1（SHINMEI）：夜明けにはじまりを予感させる清らかなシトラス
天光*2（TENKO）　：あたたかい自然の光に包まれたウッディアロマティック
恵風*2（KEIFU）　：深い森の中で広がるスモーキーグリーン

*1 標準設定（初期搭載）

*2 別途ご購入

Lexus Safety System +のアップデートによる予防安全機能の刷新

LEXUS はモビリティ社会の究極の願い「交通事故ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、NX では最新の Lexus Safety System +を採用。より広く、より遠くまで対象物を認識できるように進化し、対応事故シーンを拡大します。また、一般道等、複雑な環境でも継続的な支援を提供できるよう、機能・センサーの利用可能範囲を拡大することで安心感と利便性を向上し、運転負荷の低減に貢献します。さらに、これらの進化に応じて、車両周辺の情報をより分かりやすくメーターディスプレイに表示することで、お客様の安全・安心なドライブへのサポートにより一層貢献します。

・レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）は、先行車減速シーンや、自車前方への割り込みシーンでの減速早期化により安心感を向上し、高速道路走行時の運転をより快適にします。新たに追加したエコランモードは、加速をより緩やかにし、燃費を重視した穏やかな追従走行を行うことで、レーダークルーズコントロール走行中の燃費向上に貢献します。

・レーンチェンジアシスト［LCA*[1]*[2]］は、起動操作や車線変更の速さを見直し、より簡単でスムーズな車線変更を支援します。さらに、作動車速を拡大し、より幅広いシーンで支援を可能とするほか、ドライバーの操作と協調したハンドル支援を行うことで、さらなるお客様の安全・安心な運転に貢献します。

・プリクラッシュセーフティ［PCS*[3]］は、交差点での出会い頭のシーンにおいて、警報及びブレーキの作動車速を広げることで、これまでよりも広い車速域で衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に貢献します。

・ドライバーモニターでは、カメラでドライバーをモニタリングするシーンを拡大し、ドライバーの眠気の兆候を検知した場合、ドライバーへ注意喚起を行うことでお客様の運転をサポートします。

・ドライバー異常時対応システム*[4]は、従来の機能に加え、高速道路及び自動車専用道路を走行中に動作した際に路肩に寄せて停車する機能を追加します。

・アダプティブハイビームシステム［AHS*[5]］は、細やかなハイビーム制御により、夜間の優れた視認性に貢献します。

・ブラインドスポットモニター［BSM*[6]］は、従来の機能に加え、自車の側方を走行している自転車、バイクを検知し、注意喚起を行うことで、事故防止を支援します。

・パノラミックビューモニターは、3D ビューにより、ドライバーの周辺確認をサポート。画面のスワイプ操作により、ドライバーの好きな視点から周囲を見ることができます*[7]。クルマを透かした状態で視点を移動できるようにすることで、全周囲の死角を確認しやすくしました。

＊1　LCA＝Lane Change Assist

＊2　高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行時、レーントレーシングアシスト［LTA＝Lane Tracing Assist］制御中に作動

＊3　PCS＝Pre-Collision System

＊4　レーントレーシングアシスト［LTA］制御中に作動

＊5　AHS＝Adaptive High-beam System

＊6　BSM＝Blind Spot Monitor

＊7　シフト P ポジションで動作

★【メーカー希望小売価格】　（単位：円）

		エンジン	駆動	価格＊ （10%消費税込み）
NX450h+	version L	2.5L 直列 4 気筒	AWD	8,300,000
	F SPORT		AWD	8,600,000
NX350h	version L		AWD	7,300,000
			2WD（FF）	7,000,000
	F SPORT		AWD	7,600,000
			2WD（FF）	7,300,000

＊リサイクル料金は含まれません

以　上